

日本赤十字社大分県支部



日本赤十字社大分県支部



大分赤十字病院



大分県赤十字血液センター

- ・設 立 1877年 博愛社設立
1887年 日本赤十字社に改称
1889年 日本赤十字社大分県支部設置
1952年 大分赤十字病院開設
1964年 大分県赤十字血液銀行センター開設
(1965年大分県赤十字血液センターに改称)
- ・従業員数 【大分県内の事務系総合職】 53名
【医療職等も含めた大分県内の職員数】 約 700名
- ・業 種 日本赤十字社法に基づく認可法人
- ・事業内容 災害救護活動、赤十字病院の運営、血液事業(献血)など
- ・住 所 大分県大分市千代町2丁目3番31号
- ・TEL 097-534-2236
- ・ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/oita/>
- ・採用実績/新卒 事務系総合職 2023年度:2名、2022年度:2名、2018年度:2名

1. 企業紹介、PR

大分県内の赤十字施設「日本赤十字社大分県支部」、「大分赤十字病院」、「大分県赤十字血液センター」は、3施設合同で事務系総合職を募集しています。

日本赤十字社は2027年に創立150周年を迎える歴史と伝統のある組織です。

勤務地は、上記の県内赤十字3施設が基本なので、大分県外(大分市外)への転勤は基本的にはありません。(ただし、東京都の「日本赤十字社本社」や福岡県久留米市の「九州ブロック赤十字血液センター」への3年程度の長期研修を目的とした転勤がある場合があります。)

大分県内で地域に貢献できる安定した仕事をしたいという方に、お勧めです。

一方で、全国規模の組織なので、研修、訓練、出張などで全国の赤十字の仲間と交流することができます。特に、九州管内の各県支部・施設との交流は活発で、県境を越えた仲間がたくさんできます。また、国際赤十字の一員として、本人の希望により国際交流や国際活動に参加することも可能です。大分県で働きながら、日本全国や世界にも目を向けたいという方にも、お勧めできます。

2. 社風について

「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」これが日本赤十字社の使命です。

- ・この使命に向き合い仕事をする、真面目で優しい人間がそろっています。
- ・仕事の特性上、集中して仕事に打ち込む傾向にありますが、仕事を離れば和気あいあいとした雰囲気もある、メリハリのある職場です。
- ・仕事とプライベートが別のため、ワークライフバランスがとれます。

3. 求めている人材について

当社で働く先輩たちには、真面目にコツコツ取り組む人、失敗を恐れずチャレンジする人、冷静に周囲をサポートできる人、明るく周囲を引っ張って行く人など、色々なタイプの人があります。

組織として発展・成長していくためには、色々なタイプの人が必要ですが、異なる意見や考え方を受容することができ、チームとして最大限の力が発揮できるよう、周りの人と協働できる人を求めています。

具体的には、次のような人材、能力特性の方を求めています。

【求める人材像】

- ① 人道の精神、赤十字の理念に共感している
- ② 向上心・成長意欲がある
- ③ 被支援者と支援者の双方の側に立って想像力を発揮できる

【求める能力特性(ポテンシャル)】

- ① チームワークやコミュニケーションを大切にし、これを実践できる
- ② 変革やチャレンジに対してポジティブに構え、実行できる
- ③ 社会変化の時流を察知し、柔軟に対応できる

4. 学生の主な質問について

Q1:入社時に医療の知識が必要ですか？

A1:特に必要ありません。必要な知識は入社後に学んでいきます。先輩たちの出身学部も様々です。

Q2:配属先の希望は出せますか？

A2:年1回配属希望等を申告する機会があります。全体のバランス等があるので、希望は必ずしもかなうわけではありません。入社時の配属希望がある場合は、最終面接でアピールしておくことで希望の部署に配属されることもあります。

Q3:休日は決まっていますか？

A3:基本的には、土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)の他、日本赤十字社の創立記念日(5月1日)が休日になりますが、配属部署によって休日は異なります。休日に出勤した場合は、平日に振替の休みをきちんと取得できます。

Q4:休日に職員間の交流イベント等がありますか？

A4:休日に仕事以外のイベントは基本的にはありません。休日は、各々、家族や気の合う仲間とゆっくり過ごすことができます。なお、大分赤十字病院には、色々な運動サークルがあり、日ごろから練習等を行っている他、全国の赤十字病院間で親睦を深める九州大会や全国大会も開催されています。

5. 参考になるリンク

大分赤十字病院 <http://www.oitasekijyuji.jp/>

大分県赤十字血液センター <https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/oita/index.html>

日本赤十字社(本社) <https://www.jrc.or.jp/>

<OB/OG 情報> (情報は人事経由で卒業生との連絡手段に)

・採用実績のある県内高等教育機関

大分大学(経済学部、福祉健康科学部、工学部)

別府大学(文学部、国際経営学部)

日本文理大学(経営経済学部)

立命館アジア太平洋大学(アジア太平洋学部)

・OB 訪問対応の連絡先

日本赤十字社大分県支部 総務課

電話またはメールでお申し込みください。

TEL 097-534-2236

メール jrc-oita@oita.jrc.or.jp

・申し込みの際は次の希望をお伝えください。

希望日時(複数希望日を提示ください)

在籍(卒業)大学名・学部・学年

希望するOB/OGの年代など(希望にかなうOB/OGがない場合もあります)

・訪問の条件は基本的に次のとおりです。

対応可能時間:平日の9時~17時(概ね1時間程度)

対応場所:対応するOB/OGの所属する施設

(日本赤十字社大分県支部、大分赤十字病院、大分県赤十字血液センター)

お申し込みお待ちしております!

実際に働く人の声

日本赤十字社大分県支部ホームページの採用情報に「先輩職員の声」を掲載していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.jrc.or.jp/chapter/oita/employment/>

<先輩からの推薦>

・推薦の理由 (以下より、アピールできる項目の選択と、その詳細)

理由	詳細
<input checked="" type="checkbox"/> 成長が見込める	業務内容の幅が広く、多くの経験を積み成長することができる。
<input checked="" type="checkbox"/> 安定している	給与等は公務員に準拠しているため、高くはないが、景気に左右されることはない。
<input type="checkbox"/> 専門性が高い	スペシャリストよりもジェネラリストを育てます。
<input checked="" type="checkbox"/> 個人が尊重される	「人道」を使命に掲げる組織だけに当然です。
<input checked="" type="checkbox"/> 挑戦できる	失敗を恐れずチャレンジできる環境にある。
<input checked="" type="checkbox"/> 組織風土が良い	定期的な人事異動で多くの人と親交を深めることができる。
<input type="checkbox"/> 自由にできる	

学生へ就職するうえでもっと知って欲しいこと(詳細情報)

「**日本赤十字社**」と聞いて仕事内容をイメージできる人は少ないかと思います。

入社後のミスマッチが少しでも軽減されるよう、事務系総合職の勤務する県内赤十字 3 施設での業務内容をご紹介します。

「**日本赤十字社大分県支部**」は、災害救護活動を最も重要な事業と位置づけ、被災地への医療救護班の派遣調整、救護班要員養成のための研修や訓練の企画、被災者にお届けする救援物資の備蓄、義援金の募集等を行います。

その他にも、市民に向けた応急手当等の講習や防災セミナーの開催、ボランティアや青少年の育成などの事業も行います。

これら事業の財源は、すべて寄付で支えられていますので、事業内容を理解し寄付していただくための広報や寄付金の募集も大事な仕事です。

また、職員採用や経理の仕事など、一般企業と同じような仕事もあり、仕事の幅が非常に広いのが特徴です。

「**大分赤十字病院**」は、普段は一般の病院と変わらず地域医療を支える病院として活動しています。

事務系総合職の職員は、総務、人事、経営企画、会計、医事(診療報酬の算定などを行う業務)などの管理やマネジメントの業務に携わります。職員数 600 人以上・予算規模約 100 億という総合病院の経営管理を担います。

また、赤十字病院の最大の特徴は、災害発生時には、医師・看護師・事務職員で編成した医療救護班を被災地に派遣するという使命がある点です。この医療救護班には、事務系総合職の職員が管理要員として帯同します。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本・大分地震など、過去の大規模災害には、大分県からも多くの医療救護班が派遣されています。

「**大分県赤十字血液センター**」は、輸血が必要な患者さんのために献血者を確保し、滞りなく医療機関に届けるという業務を担います。

献血及び輸血用血液製剤の製造、供給は、国内では日本赤十字社にのみ許可されており、事務系総合職の職員は、献血ルームの運営・企画、献血バスの行き先を確保するための渉外活動、献血者募集のための広報、輸血用血液製剤の在庫調整、医療機関との受注や配送、さらには総務部門の業務などに携わります。

以上のように、普段はそれぞれの業務を行っている赤十字 3 施設ですが、災害時には赤十字の使命を果たすため、協力して災害救護活動に当たるため、平時から合同で訓練や研修に参加し、災害救護活動を行うための知識と技術を身につけていきます。

インドアな仕事からアウトドアの仕事まで、部署によって仕事内容は様々です。
人それぞれ得意分野・苦手分野がありますが、概ね 3 年から 5 年の周期で異動を行いながら、多くの経験を積んで成長していきます。

定期的な人事異動により多彩な経験と多くの人との交流を深めながら、広い視野も持った赤十字の総合職として成長していくことが期待されます。

ダイバーシティへの取組について

- ・女性社員の割合 30% (20 歳代は 67%)
- ・女性管理職の割合 0% (管理職対象年代に女性職員が少ないため)
- ・男女別新卒定着率 (3 年後) 100%
- ・産休・育休後の女性の復帰率 100%
- ・男性の育休取得率 7.7%
- ・育児や介護に関する働き方に関する制度 あり